

令和4年度 英語学習実施状況について

金沢市立鞍月小学校

①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和5年1月実施)

(%)

| | | そう思う | どちらかと言えば そう思う | どちらかと言えば そう思わない | そう思わない | 無回答 |
|-----|-------------------------------------|------|------------------|--------------------|--------|-----|
| 問1 | 英語の勉強が好きだ。 | 23.0 | 39.0 | 30.0 | 8.0 | 0 |
| 問2 | 英語の勉強は大切だ。 | 65.0 | 27.0 | 3.0 | 2.0 | 0 |
| 問3 | ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。 | 25.0 | 41.0 | 24.0 | 7.0 | 0 |
| 問4 | 英語の授業の内容が分かる。 | 51.0 | 36.0 | 8.0 | 5.0 | 0 |
| 問5 | 先生や友達に英語で質問することができる。 | 22.0 | 53.0 | 19.0 | 7.0 | 0.0 |
| 問6 | 先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。 | 27.0 | 49.0 | 18.0 | 6.0 | 0.0 |
| 問7 | アルファベットの大きい文字が書ける。 | 88.0 | 12.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 問8 | アルファベットの小さい文字が書ける。 | 82.0 | 15.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |
| 問9 | 教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。 | 76.0 | 24.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 問10 | 教科書の単語や英文を読むことができる。 | 47.0 | 30.0 | 10.0 | 12.0 | 0.0 |

②指導改善の具体策

- ・学習内容の定着を図りながら、聞き取れたことを評価し、児童の肯定感を高めていく。
- ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況を明確にする。
- ・国際交流員やALT、学校間の交流などの機会をできるだけ設定し、児童が主体的に取り組めるようにする。より英語を学ぶ必要感、楽しさを感じられるようにする。
- ・今後も英語インストラクターと毎週、指導内容や方法について打ち合わせを行い、指導改善を行う。
- ・繰り返し発話させたり。やりとりしたりすることで、自信をもって言えるようにする。

③学校関係者評価

- ・「英語の勉強は大切だ」(92%)、「英語の授業の内容がわかる」(87%)については、肯定的に評価している。英語の学習を大切だと思い、かつ内容がわかるという子が多いことは望ましい傾向だと言える。一方、「英語は好きではない」(38%)の理由を分析し、授業改善に活かす必要がある。
- ・「文字が書ける」「単語や英文を書き表すことができる」についてはほとんどの子が肯定的に評価しており、書くことへの抵抗感がないことは喜ばしい。中学校へスムーズにつなげるためにも必要なことである。
- ・「英語で質問することができる」「英語で答えることができる」は低い傾向にある。「音声表現」が苦手なのは自分も含め日本人すべてに通じる弱点と言ってしまうとそれまでだが、何とか少しでも改善したい。「②指導改善の具体策」の中に示されているように、「コミュニケーションを行う目的、場面、状況を明確にすること」と、「国際交流員やALT、学校間の交流などの機会をできるだけ設定し……」という方策を繰り返すことで弱点克服に取り組んでいくしかないだろう。
- ・易しい活動から難しい活動へとスモールステップを踏みながらの指導を心掛けてほしいし、どこかの段階でつまづいたとき丁寧な指導をすることで、自信をなくす子が出ないように留意してほしい。